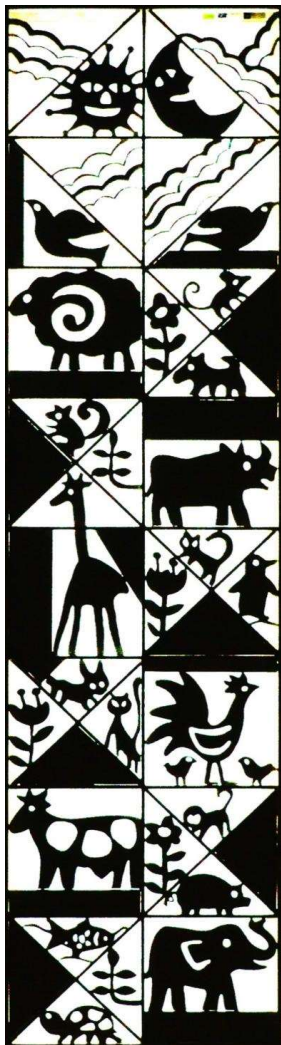


第11回小児がん中央機関 アドバイザリーボード会議

-2 中央画像診断について

国立成育医療研究センター放射線診療部

宮寄 治

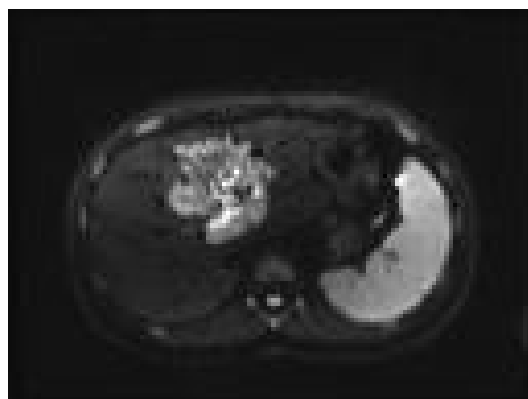


小児固形がんの臨床研究

臨床研究の
登録

- 画像診断
- 重要なFactor

神経芽腫、肝芽腫
横紋筋肉腫、Wilms腫瘍
ユーイング肉腫、脳腫瘍
胚細胞腫瘍



肝芽腫 MRI 拡散強調像

小児腫瘍科医、小児外科医のニーズ

放射線科医の読影による
中央判定(staging)が必須



第3者による質的判定が必要

治療方針決定の討論に患者の過去画像と
放射線診断と治療専門医の意見が欲しい

3

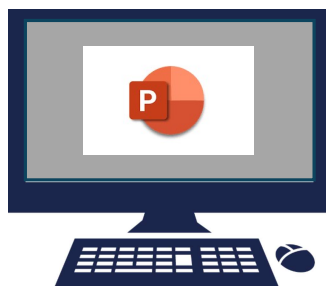
膨大な量の画像：従来のスタイル

病院のカンファレンスな
ら



電カル・PACSでラクラク
多科、多数の医師で討議

メールで・・・



CT:数百枚
MRI:数百枚
とうてい無理

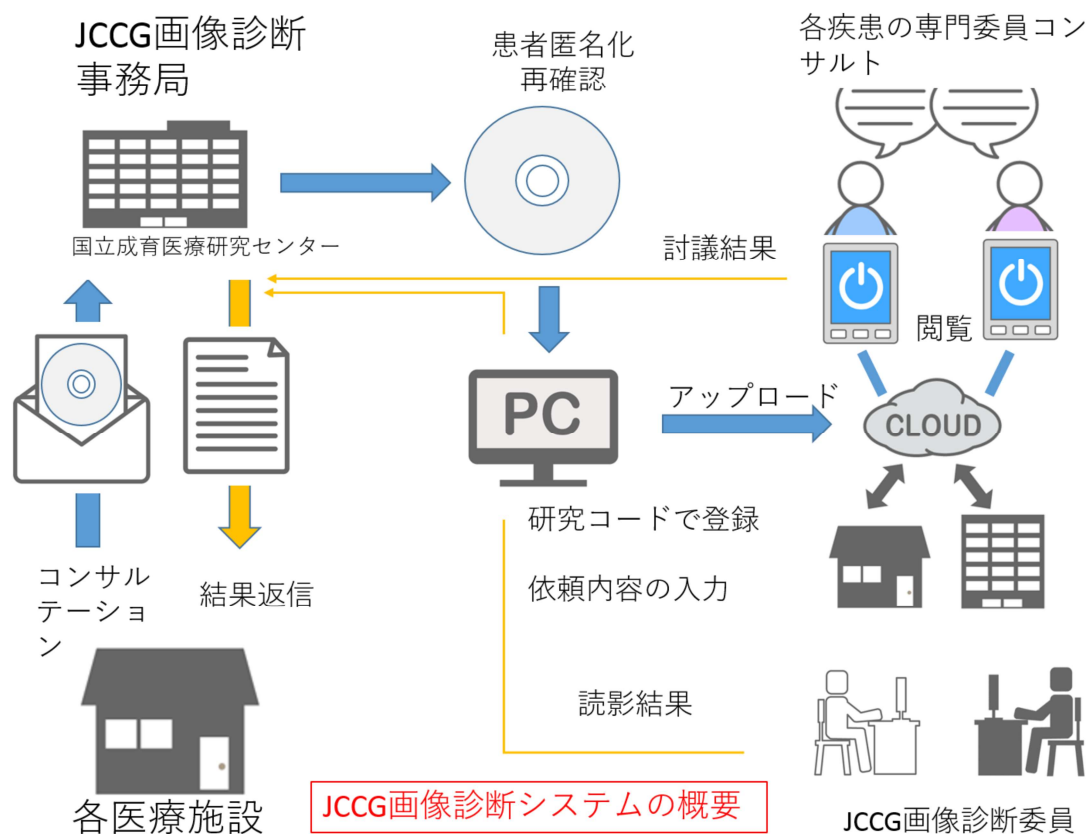
全国の仲間と
相談したい

治療前も
治療後も
いま見たい
すぐ見たい
全部見たい



4

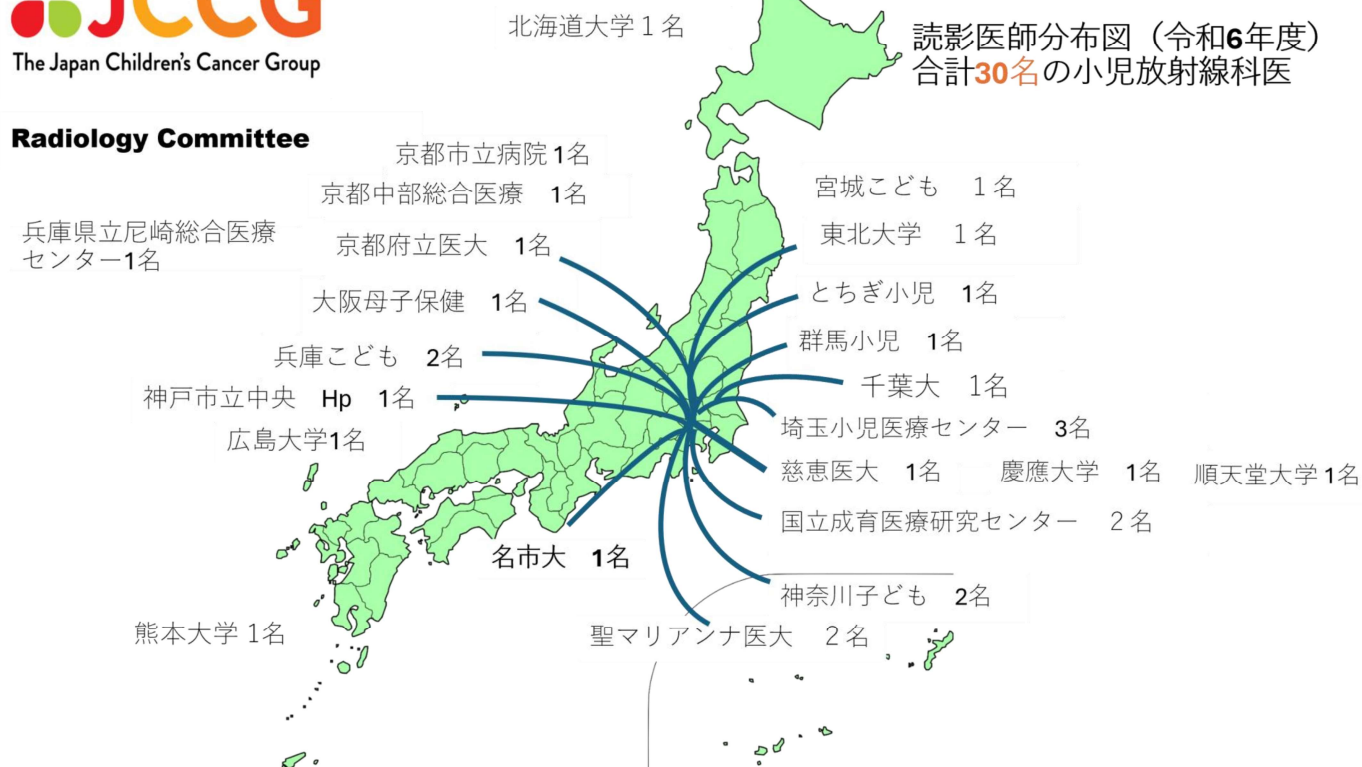
JCCG：小児がん研究の二一ズにんえるには



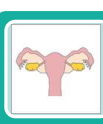
2024 version

読影医師分布図（令和6年度）
合計30名の小児放射線科医

Radiology Committee



我々の関与する仕事

 肝腫瘍委員会	 腎腫瘍委員会
 神経芽腫委員会	 ユーイング肉腫委員会
 横紋筋肉腫委員会	 胚細胞腫瘍委員会
 脳腫瘍委員会	 血液 (LCH・JMML)

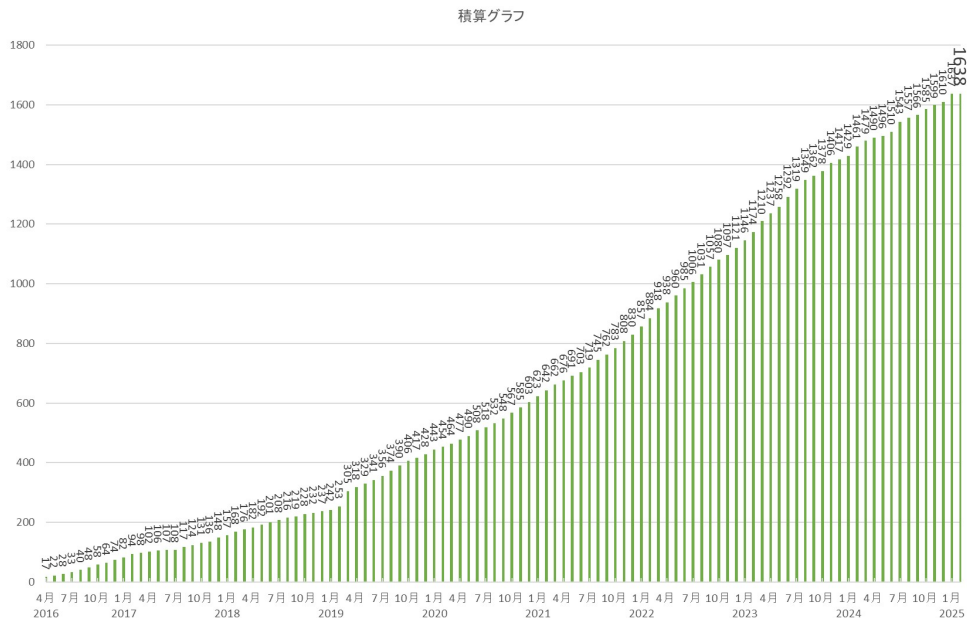
内訳

肝腫瘍委員会	:	220症例	736件
海外: 香港21症例		68件, シンガポール	6症例22件
神経芽腫委員会	:	136症例	433件
脳腫瘍委員会	:	65症例	75件
横紋筋肉腫委員会	:	87症例	154件
ユーイング肉腫委員会	:	17症例	23件
腎腫瘍委員会	:	66症例	117件
胚細胞腫瘍委員会	:	5症例	6件
JMML	:	28症例	62件
HS (LCH)	:	30症例	31件

アップロード業務実績報告

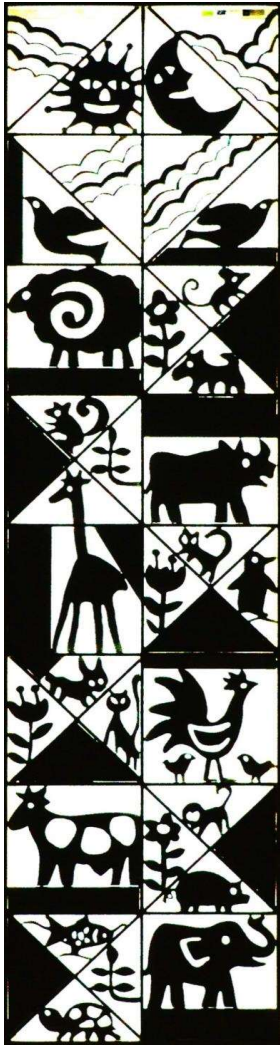
累計654 症例 1637件

(2016年4月～2025年01月31日)



個々のグループに即した読影

- 1 読影結果が病期診断に直接寄与：肝芽腫
- 2 プロトコルの一環：神経芽腫
- 3 術後残存腫瘍判定：上衣腫（脳腫瘍）
- 4 診断とデータ入力：腎腫瘍
- 5 脾臓ボリューム計測：白血病
- 6 個別コンサルテーション



ご清聴ありがとうございました